

令和元年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立八頭高等学校

校長 中島 靖雄

評 価 日	令和 2 年 1 月 2 4 日 (金)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ○「ルール・マナーの徹底」に関しては、学校評価アンケートでも 98% の生徒が肯定的評価をしている。よく挨拶をしてくれるなど、見ていても八頭高生の態度はとてもよいと思う。 ○「愛し愛され運動」の参加者については延数で算出しているのであれば、パーセンテージを計算する時の分母は生徒数の 2 倍にすべきではないだろうか。 ○「八頭高ライフ体験」については、今年が一番よかった。中学生が八頭高に来たくなるような取組になるよう、今後とも努力してほしい。 ○企業家訪問については、中学校や大学でも同様の取組を行っており、受入企業の方にとって負担が大きくないだろうか。 ○学校評価アンケートを見ると、保護者（家庭）とよく連携していると考えている教員の割合が 90% に達している一方、教員（学校）とよく連携していると考えている保護者の割合は 79% に止まっており、乖離が見られる。保護者は学校からもらえる情報が少ないと感じているのではないだろうか。 (2) 説明・公表について ○特になし		○一層徹底できるよう努力したい。 ○検討したい。 ○初めての試みとして「八頭高クイズ」を実施するなど、中学生に興味を持ってもらえるよう工夫している。 ○中、高、大と発達段階に応じて目的も異なり、企業側もその意義をよく理解してくださっていると思う。 ○保護者の理解が得られるよう、引き続き努力したい。
2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ○学校独自事業などを活用していろいろな行事に取り組んでおられるが、それらを自宅学習の定着にどのようにつなげるか、工夫が必要である。		○自宅学習の定着につながるような行事であるべきと考えている。
3. 取組改善のための提言 ○高い進路目標を設定させる取組は是非継続すべきである。もっと国公立大学の希望者を増やす取組みを強化してほしい。		○御指摘のとおりである。引き続き努力したい。

